

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 録

令和6年10月16日 午後2時00分 開会

出席委員

教 育 長	大 江 孝 一
委 員	菅 沼 由貴子
委 員	戸 莉 恵理子
委 員	佐 原 圭 子
委 員	山 田 清 志

説明のための出席者

教育部長	高 橋 純 司
教育部次長	酒 井 保 吏
教育部次長兼学校教育課長	鈴 木 康 孔
教育部次長兼中央図書館長	坂 田 憲 美
庶務課課長	杉 浦 忠 彦
庶務課主幹	石 黒 友 作
学校教育課主幹	齋 川 浩
生涯学習課長	石 黒 泰 基
スポーツ課長	小 原 寛 明
学校給食課長	吉 田 信
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵

教育長が指定した事務局職員

主 事	山 崎 修
主 事	森 下 徹

議事日程

- 第1 議事録署名委員の指名
- 第2 第21号議案 令和7年度教職員定期人事異動方針について（非公開）
- 第3 第22号議案 令和5年度教育委員会事務の点検・評価報告書について

「大江教育長」 定刻になりましたので、ただ今から教育委員会を開会し、会議を開催します。始めに日程第1、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、教育長において、菅沼・佐原 両委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

「大江教育長」 次に、日程第2、第21号議案「令和7年度教職員定期人事異動方針について」を議題といたしますが、本案は職員の人事に関する案件となりますので、議事を非公開とし、会議内容の議事を別に記録することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

「大江教育長」 異議なしと認め、第21号議案「令和7年度教職員定期人事異動方針について」は非公開とします。

(以下、議事を非公開)

「大江教育長」 続きまして、日程第3、第22号議案「令和5年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

「杉浦庶務課長」 第22号議案「令和5年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」を資料に基づき説明。

「大江教育長」 このことについて、ご質疑がありましたらお願いします。

「山田委員」 今回、12事業について外部評価を受けたとのことですが、外部評価を受ける事業の選択基準はありますか。

「杉浦庶務課長」 各課2事業を目安に選択し、6課分12事業としたものです。各課では重点と考える事業のうちから2事業を選択しています。前年度と同じ事業を選択し、進捗状況について評価を受ける場合もありますし、前年度とは別の事業を選択し、新たに評価を受ける場合もあります。

「山田委員」 今回選択された12事業ですが、4つの基本目標ごとに並べると偏りがある気がします。評価の連続性や重点度もあるかもしれませんが、次回からは4つの基本目標ごとにバランスよく外部評価対象となる事業が抽出されると良いと思います。

「杉浦庶務課長」 ありがとうございます。次回点検評価の際には、そのようなバランスも意識しながら外部評価対象となる事業を選択したいと思います。

「菅沼委員」 スポーツイベントの開催支援について、委員の評価が分かれたとのこと。結果的には「概ね良好」という意見にまとまったとのことですが、どのような分かれ方だったのかを教えてください。

「杉浦庶務課長」 スポーツイベントの開催支援事業ですが、担当課の自己評価はC評価で、これは外部評価における委員評価に置き換えると「概ね良好」と同程度となりますが、1人の委員から、もう1段高い評価で良いのではないかという意見をいただいたものとなります。委員の評価が分かれた場合、低いほうの評価を優先することが基本となりますが、この乖離について、委員の皆さまに協議いただいた結果、基本の考え方どおり「概ね良好」という評価に落ち着いたというものとなります。

「戸茱委員」 部活動の外部講師の活用について伺います。総合教育会議でも話題にありましたが、今後、休日指導にあたる方の1日あたりの時間を2時間から3時間に増やすとのことでした。これは、今後部活動の実施時間を長くしていくということ

でしょうか。

「鈴木教育部次長」 部活動の実施時間を長くしようというものではありません。部活動を休日に行う場合、朝9時から12時頃までの3時間程度ということが多いと思います。実際には、外部指導者の方も最初から最後まで一緒に指導いただける場合が多いのですが、これまで2時間分の対価として支払っていました。もともと2時間分と設定した理由がはっきりとは分からないのですが、学校によっては特定の部活動を学校とは別の場所で行うものもあることから一律2時間という設定になっていたのかもしれない。ただし、実際には最初から最後まで一緒に指導いただける場合も多いことから、現実的な時間数として3時間分とし、さらに人数も5名増員する予定というものです。

「戸荻委員」 部活動の在り方のひとつとして、短い時間で集中して行う、という考えもあると思います。例えば15分休憩を2回入れて3時間練習していたものを、15分休憩を1回にして練習時間を2時間にしたらどうかという考えです。部活動の終了時刻は日が暮れる早さに左右されるので、どうしても季節ごとにムラがあります。夏のとても暑いときには長時間、冬の日が短いときには40分等、そのようなことも課題だと思います。今回のように外部指導者の在り方を検討するタイミングで、これら部活動の在り方を改めて検証しても良かったかもしれません。ただ、保護者の中でも、できれば長い時間学校にいた方が安心だ、という声も当然あるかと思いますが、部活動の活動時間を大きく見直そうというのは、なかなか難しいのかもしれませんが。

「大江教育長」 確認ですが、これまでもこれからも1回あたりの活動時間が2時間の部活があったとします。これから1回あたり3時間に増えるとなると、そのような2時間のみの部活ではどうなりますか。

「鈴木教育部次長」 今回の積算は、3時間×25日＝75時間としており、年間25日間の外部指導を想定した予算です。実際の支払いは、あくまで1時間単位での支払いですので、1日3時間、年間25日やってくださいというのではなく、部活動間の裁量で年間75時間をうまく活用してください、というものとなります。

「山田委員」 昨年度、部活動の地域移行に関連して、土日部活動の在り方についての検討会議があったと思います。この検討会議は今年も継続していますか。

「鈴木教育部次長」 継続して検討したいと考えており、11月に開催する予定です。

「山田委員」 学校教育課に伺います。今回評価委委員から、人員が不足している学級運営支援員について「今後は人員確保のため就労時間の見直し等も行いながら広く募集をしていただきたい」との意見が寄せられています。この意見について確認したいのですが、これは、予算にどうしても上限があることから、1人あたりの勤務時間を減らして、少しでも多くの人数を雇うべきではないかというものでしょうか。

「鈴木教育部次長」 そうではなく、いわゆる「年収の壁」に関連した意見です。学級運営支援員の大半を占める個別支援員の方々ですが、例えば4月から週5で勤務した場合、10月頃には103万円を超えてしまいます。そのような勤務体制の場合で

103万円以内の働き方を希望される方については、10月頃までの勤務となってしまうという現実的な課題があります。そこで、勤務日を週4、週3にしたり、その抜けた穴を、教員試験に合格した大学生等に声をかけて埋めるということを考えていかなければならないのではないかと思います。

「山田委員」 学級運営支援員について、豊川市では近隣自治体に比べ多くの予算を確保していると市長も言われており、希望する学級に対する配置率は40%程度となります。これからもっと増やそうというのも一つの方向性かもしれませんが、せっかくこれだけの人数を配置していて、多くの学級で先生のほかにもう1名が配置されているのだから、個別の子が落ち着いているときなどは、担任の先生と相談しながら、個別支援以外の業務をお手伝いいただくというようなことが出来たら良いとも思います。なかなか難しいのかもしれませんが、せっかくの配置を有効活用できればという意見です。

「大江教育長」 任用上、業務内容を取り決めてお願いしているので、その取り決めで超えた業務をお願いするということは難しいかもしれません。ただし、私も昨年度まで学校にいましたが、こんなことまでやってくれるのかという方もいますし、任用とおり特定の子に特化した支援をしてくれる方もいます。任用範囲の中で、そのような余地があれば、学校側も頼みやすいかもしれませんので、検討しても良いかもしれません。また、先日現場の先生と話していた際に、現場としては103万円を12か月で均等に割ったような勤務シフトではなく、年度当初に重点的に寄せたシフトを希望していたようです。年度はじめから個別支援員がいることで、徐々に子どもも安定し、その結果学級全体が落ち着き、手がかからなくという傾向があるようです。そのような現場の声がありましたので、お伝えしておきます。

「大江教育長」 ほかにご意見等がなければ採決を行います。本案は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声)

「大江教育長」 異議なしと認め、第22号議案「令和5年度教育委員会事務の点検・評価報告書について」は、原案のとおり可決されました。

「大江教育長」 本日の会議に付議されました案件は以上ですので、これで本委員会 は閉会といたします。

(午後2時50分 閉会)

この議事録は真正であることを認め、ここに署名する。

教 育 委 員

教 育 委 員